

ひまわり

NO. 4

今回は、長崎先生と田邊先生が授業を提供してくださいました。ありがとうございました。研修便りでは、研修協議会で出た意見等を記載しますので、今後の参考にしていただけたら幸いです。

長崎先生の社会

①日時 平成30年9月21日（金）第4校時 （5年1組）

②授業の様子



資料をもとに考えています。



どの児童も、自分の考えをもつことができました。

- (視点) ①3つのグラフから、日本の米作り農家の課題を読み取ることができたか。
②日本のこれからの米作りについて、自分の考えを持つことができたか。
③その他

③成果（研究協議会において）

- ①・グラフを読み取る活動は大切であるため、たくさん活動（3種類読み取る）があったのはよかった。
 - ・味方のポイントを示すことで、児童が前向きに取り組んでいた。
 - ・追求し過ぎるといろいろな意見が出てしまい幅が広がって大変なので、大切なところを押さえながら進めていてよかった。
- ②・ほとんどの児童が自分の考えをもつことができていた。

④課題（研究協議会において）

- ②・考えない、書けない児童には、時間設定をすると書けるのでは。
 - ・3回資料を読み取る活動があったので、全員がなんらかの形で発表できる機会があるとよいのでは。

⑤次にむけて、取り入れたいこと

- ・社会では資料の読み取りが大切だと改めて思いました。ありがとうございました。

田邊先生の算数（研修支援訪問）

①日時 平成30年9月27日（木）第5校時 （2年2組）

②授業の様子



黒板を三分割されて、大きな字でわかりやすい板書でした。



計算ブロックを使って、ペア学習をしています。



ワークシートで練習問題を解きました。図で表しあらわした後は、穴埋めです。



- （視点）
- ① ブロック操作をすることが、かけ算の意味理解につながっていたか。
 - ② ペア学習をすることで、一人ひとりが主体的に活動できたか。
 - ③ その他

③成果（研究協議会において）

- ①・ブロック操作をすることで、学びがよりスムーズになり、意味理解につながっていた。
 - ・コーヒーカップ5台分に対し、紙が6枚あったので、フェイクの1枚が必要かどうかを考えることでかけ算の意味理解が深まった。
 - ・さわる、数える、置く、目で見るとことで体感することができた。
- ②・一人ひとりが主体的に学ぶことができた。
 - ・ボードを使ったクイズ形式にしたことで、二人で楽しく意欲的にできていた。
 - ・①前時の確認 ②考える ③活用するという3つの違う種類のペア活動が考えられていたのがよかった。
 - ・ペアで確認し合うことで、安心して取り組めたように見えた。
 - ・今回のように、椅子だけの移動も時間を取らずよかった。
- ③・学習規律が身につけていて声もよく出ていた。
 - ・返事や姿勢がよく、活動とノートまとめの切り替えもすばやくできていて、日頃の指導の成果が出ていた。
 - ・板書が視覚的にわかりやすいよう工夫され、字も大きくて読みやすく、すっきりとまとまっていた。
 - ・図と台紙を話型の枠に入れて見せたのが、場面の意味理解に効果的であった。
 - ・子供への声かけや、口調、指示の出し方が適切であり、教師の大らかな雰囲気の中で安心して学ぶことができていた。
 - ・大事なことを何度も繰り返し復唱させるなどして、基本が身に付くように取り組んでいる。
 - ・教室掲示が工夫されていて、居心地のよい学習環境になっている。
 - ・支援の必要な子も含め、一人ひとりが学習にしっかり取り組んでいた。

④課題（研究協議会において）

- ①・クイズのやり方が分かっていない子がいた。
 - 問題づくりの前に、もう少し細かく（使うブロックの数など）指示を出すとよかった。
 - ・答える側も、何を答えるのかよく理解していない子がいた。教師の例通りに口で答えるのはまだむずかしかった。
 - 式だけボードに書くという方法をとってもよかった。
- ②・すぐにペアで活動するのではなく、一人学びも必要では。
 - ・ペア学習では、誰と誰を組ませるのがよいかを、今回に限らずいつも考えていかななくてはならないのでは。
 - ・椅子だけの移動は、手ものがあるときには、できにくい面もある。
 - ・ペア学習にかかる時間は内容と照らし合わせて仕組む必要がある。今回は、もう少し時間をかけて、式を書かせるようにしたらよかったのでは。
 - ・ペア学習でも支援の必要な子をこれからどうしていくか。
- ③・式を書く活動が少なかった。
 - ・授業がすんなり流れたが、まちがいや失敗から学ぶことも多い。ときには教師自らがそのような場面をつくとよい。また、あまり慎重になりすぎず、子供にまかせるのもよい。
 - ・「×」を、「かけ」ではなく「かける」と正しく読むように指導したほうがよい。
 - ・かけ算では、○こずつをしっかりおさえる必要がある。ワークシートに線を引くなどしておさえたい。
 - ・振り返りは、文章で書かせる必要はないのか。
 - ・子供たちへの声かけは、質問をした後はより丁寧にする必要がある。

⑤次回にむけて、取り入れたいこと

- ・どの児童も真剣に取り組んでいました。ブロック操作の方法やペア学習の意味を改めて確認できました。ありがとうございました。